



報道関係者 各位

平野屋新田会所の杉戸絵などを初公開！ 夏季企画展「新田会所をとりまくヒトとモノ」

令和6年7月20日(土)から、大東市立歴史民俗資料館にて夏季企画展「新田会所をとりまくヒトとモノ～平野屋新田会所から～」を開催します。

大東市では、市の代表的な歴史遺産である市史跡「平野屋新田会所跡」の保存・活用・整備の基本的な方向性を示した「保存活用計画」を策定しました。この「保存活用計画」に基づき、新田会所の歴史をより多くの人に知ってもらうための企画第2弾として開催するものです。

今回の展示では、平野屋新田会所最後の所有者・銭屋高松家から寄贈された杉戸絵や古文書、令和6年度に市登録文化財となった坐摩神社の奉納資料など、初公開の資料を含む約20点を展示し、新田会所の役割や新田経営にたずさわった人びとについて紹介します。

展示期間中には、全4回の連続講座「新田会所資料をひもとく」を開催し、市史跡「平野屋新田会所跡」と関連文化財群の保存・活用の取り組みや、美術史・民俗学・歴史学の立場から新田会所資料に関する最新の研究成果を紹介します。



初公開資料
平野屋新田会所の杉戸絵「溪流遊虎図」

夏季企画展「新田会所をとりまくヒトとモノ～平野屋新田会所から～」の概要

会 場：大東市立歴史民俗資料館(大東市野崎3-6-1)

期 間：令和6年7月20日(土)～9月8日(日) (休館日：第1・3火曜日)

開館時間：午前9時30分～午後7時30分

入 場 料：無料



連続講座「新田会所資料をひもとく」の概要

会場：歴史とスポーツふれあいセンター多目的室1

日程：①令和6年7月21日(日)/②7月27日(土)/③8月10日(土)

いずれも午後2時～4時

④シンポジウム：令和6年8月31日(土) 午後1時～4時

参加料：無料

定 員：各回先着50名



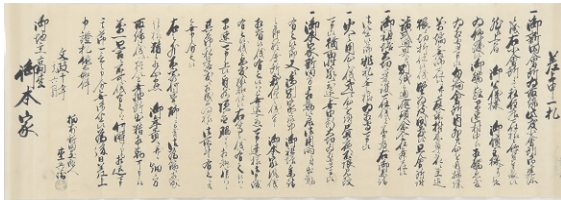
主な展示資料



虎溪三笑図

初公開資料 平野屋新田会所の杉戸絵

かつて平野屋新田会所の座敷棟に設置されていた杉戸絵のうち、修復中の1枚をのぞく3枚を初公開します。中国の故事や動物、風景などが描かれており、大坂商人のハレの場でもあった新田会所のしつらいを知るための貴重な資料です。令和4年に銭屋高松家から大東市に寄贈されました。



銭屋高松家文書

令和5年に大東市に寄贈された「銭屋高松家文書」のうち、高松家が所有した平野屋新田会所や柏村新田会所(八尾市)の経営に関する記録などを展示します。



坐摩神社奉納資料

令和6年に市登録文化財となった「坐摩神社奉納資料」の一部を展示します。坐摩神社はかつて平野屋新田会所の屋敷地内にあった神社で、会所所有者や新田住民から奉納された灯籠や絵馬などが伝わっています。

【参考】深野池の新田開発と平野屋新田会所跡

現在の大東市の市街地付近には、江戸時代まで深野池という池が広がっていました。宝永元(1704)の大和川付替え工事にともない干上がった深野池の跡地では、約323ヘクタール(甲子園球場約84個分)の土地が開発され、今日の大東市の発展の原点となりました。

平野屋新田会所は、享保6年(1721)に大坂の両替商・平野屋又右衛門が所有権を得た深野南新田(大東市平野屋・谷川・南新田)と河内屋南新田(東大阪市元町)の管理・運営のために設けられた施設で、年貢の集積や住民の管理、武家の接待等に使われました。

平野屋新田会所と深野南・河内屋南新田の所有権は、助松屋忠兵衛、天王寺屋八重を経て、文政7年(1824)に銭屋(高松)長左衛門に譲渡され、平成19年(2007)まで高松家が会所建物を所有していました。

平野屋新田会所の建物は宅地開発のため、平成20年に失われましたが、大東市が公有化した千石蔵(米蔵)・道具蔵・船着場・周濠の遺構が残る跡地の一部が市の史跡に指定されています。

大東市は、「市史跡平野屋新田会所跡保存活用計画」に基づき、令和8年度の完成を目標に、市史跡指定地の整備を進めていく予定です。



1980年頃の平野屋新田会所千石蔵



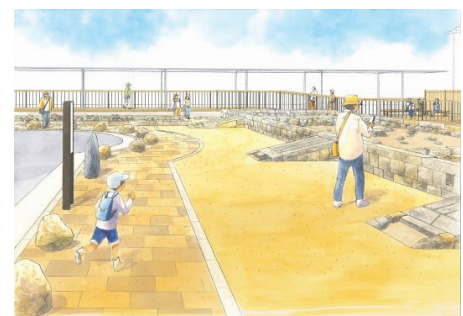
大東市指定史跡「平野屋新田会所 千石蔵跡・
道具蔵跡・船着場跡・周濠跡」

保存活用計画とは

江戸時代の新田開発や新田経営の歴史を物語る場所として、歴史的価値や魅力を感じることができ、郷土愛を育む地域の憩いの場となることをめざし、市史跡平野屋新田会所跡の保存・活用・整備を進めていくための基本的な方針を示しています。

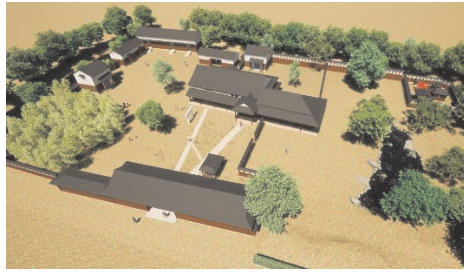
整備イメージ

平野屋新田会所跡や関連遺産の歴史的価値や魅力を守り伝えていくために、現地に残る会所屋敷の遺構の保存を前提として公開・見学環境を整え、地域の憩いの場としての整備を進めます。



【企画第1弾】CGで復元！江戸時代の「平野屋新田会所」

この「保存活用計画」に基づき、新田会所の歴史をより多くの人に知ってもらうため、大阪産業大学と連携し、デザイン工学科の学生たちが解体前の古写真や図面等をもとに、江戸時代の平野屋新田会所をCGで復元しました。



動画

【お問い合わせ先】

大東市 産業・文化部 生涯学習課 担当：佐々木
TEL:072-870-9105 FAX:072-870-9687